

日本リハ医学会近畿地方会Newsletter



平成24年度 第2号
2013年1月31日発行

近畿地方会ホームページ
www.kinkireh.com

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会事務局
大阪医科大学 総合医学講座 リハビリテーション医学教室 佐浦 隆一

お問合せ先
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 KRP6号館304号
有限会社 セクレタリアット内 近畿地方会事務局
TEL: 075-315-8472 FAX: 075-315-8472 E-mail: office@kinkireh.com



新代表幹事の挨拶

大阪医科大学 総合医学講座
リハビリテーション医学教室
佐浦 隆一

松が明けて小正月を迎え、日本リハビリテーション医学会(以下、リハ医学会)近畿地方会(以下、近畿地方会)会員の皆様には寒中お見舞い申し上げます。また、平素は近畿地方会の運営へのご協力、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

リハ医学会が平成24年4月1日をもって公益社団法人化され、近畿地区でも新しく56名の代議員が決まりました。昨年は近畿地方会幹事会の改選年でしたので、平成24年7月7日の近畿地方会総会にて新代議員も加えて新幹事会(幹事58名、監事2名)が選出され、私が代表幹事を拝命致しました。

平成9年に発足した近畿地方会は、平成22年末に急逝された藤原誠兵庫医科大学名誉教授が初代代表幹事に就任、平成10年1月に第1回近畿地方会が神戸で開催されて以来、平成24年10月までの14年間に33回の学術集会と47回の生涯教育研修会を近畿全域で開催しています。また、近畿地方会ホームページの充実、Newsletter(通巻17号)の発行、査読のある近畿地方会学術誌「リハビリテーション科診療」の発刊(通刊12号)など広報活動、学術活動にも注力しています。このように近畿地方会は多くの幹事、監事の方々のご尽力、会員皆様のご協力により、立派な組織に発展して参りました。この歴史のある近畿地方会の代表幹事の任に着くことは、浅学非才の私にとつて身に余る光栄です。

さて、近畿地方会には地方会組織の改編・体制強化を目的に、教育(大澤傑委員長)、広報(川上寿一委員長)、学術・編集(阿部和夫委員長)、財務・渉外(菅本一臣委員長)の4委員会が設置されていますが、今般各委員会と連携しながら地方会全般にわたる総務を行う

CONTENTS

- ◆新代表幹事の挨拶 1頁
- ◆新幹事の抱負 1-4頁
- ◆専門医会幹事就任の挨拶 4頁
- ◆近畿地方会の地方会誌について..... 4頁
- ◆第34回日本リハビリテーション医学会
近畿地方会学術集会 会長挨拶 5頁
- ◆第34回近畿地方会開催概要 5頁
- ◆2013年度近畿地方会研修会カレンダー 6頁
- ◆編集後記 6頁

総務委員会(中土保委員長)を新設しました。また、新執行部として菅本一臣先生、中馬孝容先生、中村健先生、中土保先生には副代表幹事就任をお願い致しました。

これまでの地方会事業の経緯を振り返ると、回復期リハ病棟専任医との連携強化、リハ科医の裾野拡大を目的に教育委員会事業として始まった「回復期リハ病棟など、リハ専任医のための研修会」は「回復期リハ病棟など、リハ専任医のための研究会」に発展しリハ科医育成のためのプログラムのひとつとなっています。さらに、予てから懸案であった紙媒体出版物のオンライン化も行われました。いよいよ、本年はリハ医学会設立50周年を迎え、近畿地方会でも50周年記念市民公開講座が教育委員会を中心に企画されています。

近畿地方会の課題は少しずつ解決されてきていますが、赤字基調の財務状況、会員の新規獲得など問題は山積しています。また、2017年からの新専門医制度に対する対応や研修プログラム立案などは近畿地方会で真剣に討議しなければならない喫緊の課題と考えています。

代表幹事として、また、リハ医学会理事として、幹事会メンバーとともに近畿地方会のみならず、リハ医学会発展のために精一杯努力いたしますので、会員の皆様の暖かいご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

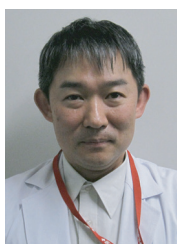
特集

新幹事の抱負

今号と次号に続けて順不同で掲載します。近畿地方会の多様性と専門性がアップしました。

新幹事の自己紹介です。経歴も専門領域もそれぞれ異なりますが、リハ医学にかける熱意は大きく、

坂井 孝司 大阪大学医学部附属病院リハビリテーション部



このたび日本リハビリテーション医学会近畿地方会幹事に選出して頂き誠にありがとうございます。私は平成5年に大阪大学を卒業後、大阪大学整形外科教室へ入局し股関節外科を専門とし研究と診療に携わって参りました。平成18年7月から現在の職場の助教としてリハビリテーションにも携っており、平成22年に専門医を取得致しました。kinematics/kineticsの臨床研究を含め運動器リハビリテーションに主に携わっておりますが、当院疼痛医療センターにも属しCRPS例に対するリハビリテーションや、平成23年から当院で立ち上げましたががんリハビリテーションにも携わっております。大学病院におけるリハビリテーションに関する最重要課題の一つとして人材の確保が挙げられますが、学生や研修医と接していてもなかなか興味を持ってもらえず、困難な状況に直面しております。今後は日本リハビリテーション医学会ならびに近畿地方会のさらなる発展に微力ながら貢献できればと考えております。何卒よろしく願い申し上げます。